

第七十四回
帝國議會
貴族院

軍馬資源保護法案特別委員會議事速記録第四號

昭和十四年三月十一日(土曜日)午前十時
七分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ只今
ヨリ委員會ヲ開會致シマス、昨日ニ引續キ
マシテ御質問ヲ願ヒマス、先ヅ本日ハ陸軍
當局ノ軍馬ニ關スル御説明ヲ伺ヒタイと思
ヒマス

○政府委員(中村明人君) 一昨日御要求ノ
アリマシタ出征軍馬ニ關シマシテ、陸軍ノ
見タ所ヲ率直ニ御報告申上ゲマス、是ハ略、
同様ノコトハ既ニ馬政委員會ニ於テモ申シ
テ居ルノデゴザイマスコトヲ附加ヘテ置キ
マス、今次事變ニ於キマス所ノ我方國多
數ノ出征軍馬ハ、御承知ノ如ク事變開始以
來軍ノ活兵器トシマシテ、將又皇軍將兵ノ
無言ノ戰友ト致シマシテ、有ラユル戰況、
地形、天候ノ下ニ不斷ノ活躍ヲ續ケマシテ、
偉大ノ成果ヲ收メツ、アリマスルコトハ、
モウ申上ゲル迄モナク各位ノ夙ニ御了承ノ
コトト存ズルノデアリマスルガ、以下御要
求モアリマスルノデ若干御説明ヲ申上ゲタ
イト思ヒマス、偕今次事變ヲ發生シマシテ
カラ今日迄ニ於キマス所ノ出征軍馬ノ數
デゴザイマスガ、是ハ追送、補充ヲ含ミマ

シテ日本馬〇〇頭、支那馬モ亦約〇〇頭、合
計シマスト〇〇ノ數ニナリマス、出征定員
ニ對シマス所ノ百分率ハ、世界大戰ニ於キ
マス所ノ三十七「プロ」ニ比ベマスト小サウ
ゴザイマスガ、日露戰役ニ於キマス所ノ十
九・七「プロ」ニ比シマスレバ、遙カニ大キイ
ヤウナ次第デアリマス、是等ノ出征軍馬ハ、
或ハ北支或ハ中支南支ニ於テ、我方忠勇ナ
ル將兵ト嶮難ノ地形、不良ノ天候ノ下ニ有
ラユル苦難ヲ忍ビマシテ、晝夜ヲ分タズ飢
渴ニ堪ヘ、連續不斷ノ活躍ヲ續ケテ赫々タ
ル偉勳ヲ奏シ、事變發生以來皇軍ノ耀カシ
イ戰爭ノ蔭ニハ、此ノ默々トシテ活躍ヲシ
テ來マシタ所ノ多數ノ軍馬ノ在ルコトヲ私
共ハ忘レルコトガ出來ナイノデアリマス、
殊ニ自動車、砲車ヲ通ゼザル嶮難ノ地形ニ
於キマシテハ、道ノ無イ所ニ小サナ道ヲ附
ケテ跋涉シ、或ハ作戦ヲ敢行スル皇軍部隊
ニ取リマシテハ、馬ノ背ヲ使用スル山砲、
機關銃等ノ偉力ト云フモノハ、敵ヲ壓倒殲
滅スル唯一ノ兵器デアッタと思ヒマス、此ノ
場合ニ於キマスル軍馬ノ功績ト云フモノハ
如何ニ顯著デアリマシタカ、若シ夫レ崎嶇
羊腸嶮難ノ地ニ於キマシテノ作戦ガ、果シ

テ之レ無クシテ遂行シ得タカドウカヲ思ハ
シムルニ十分ナル軍馬ノ偉功ガ窺ハレルノ
デアリマス、最近軍ノ機械化ノ趨勢ニ伴ヒ
マシテ、軍馬ノ必要性ニ關シマシテハ世上
一部ノ疑念ヲ抱ケル方モアルヤウニ聞キマ
スケレドモ、實ハ經驗ヲ致シマシタ今次事
變ノ實績ニ徴シマスルト、軍馬ガ依然トシ
テ如何ニ作戦ニ重大ナル役割ヲ演ジテ居ル
カト云フコトハ、モウ詳シク知ラナイ者ハ
ナイト信ジテ居ルノデアリマス、デアリマ
スガ、世上一部ノ言ヲ承ルコトモアリマス
ノデ茲ニ一言致ス次第デゴザイマス、次ハ
是等ノ馬ニ關スル病馬數及損耗馬數ノコト
ニ付テ申上ゲタイと思ヒマス、昨年十一月
ニ於ケル調査ニ依リマス、本事變ノ病馬
數ノ累計ハ約〇〇頭ニ達スルノデアリマス、
内損耗數ハ日本馬ガ約〇〇頭デアリマシテ、
過去ノ諸戰役ニ比較スルト少シ多イノデア
リマス、病馬ノ種類ハ、其ノ主ナルモノヲ
申シマスレバ、鞍傷、過勞、榮養不良等ニ屬ス
ルモノアリマシテ、其ノ中デモ鞍傷ガ一番多
ク約三割乃至五割ヲ占メテ居ルノデアリマ
ス、過勞及榮養不良ガ之ニ次ギマシテ二割乃
至三割、其ノ他腹疫、鼻「カタル」、疝痛及蹴

傷等モ亦相當ノ數ニ上ツテ居ルノデアリマ
ス、以上ノ内、過勞ニ屬シマスルモノハ其ノ
大部ガ回復セズ斃死スル、遂ニ斃死スルト
云フコトニナツテ居ルノハ大イニ注目ヲ要
スル所デアリマス、尙戰傷馬、戰死馬ノ多
イノハ本事變ノ一ツノ特色デアリマス、戰
傷馬ハ病馬ノ中ノ約一割ヲ占メテ居ル、戰
死馬ハ損耗馬ノ中ノ約二割ヲ超エテ居ル狀
況デアリマス、是等病馬ノ發生ノ原因ハ、
鐵道船舶ノ長途輸送、而モ何等ノ休養ヲス
ル暇ガナク、船カラ出テ直チニ汽車ニ積込
マレ、引續キ連續不斷ノ作戦行動ニ從事ヲ
シテ、而モ此ノ間給與ノ不足、天候ノ不良、
地形ノ嶮難等、有ラユル惡條件ニ曝サレマ
シテ、更ニ出征部隊ニ於キマスル馬取扱ノ
粗漏又ハ愛護ノ不十分ナモノモ多少アリマ
シタル結果、斯様ナ狀態ニナッタト信ズルノ
デゴザイマスガ、併シナガラ一面軍馬ノ資
質、就中徵發馬ノ資格及能力ガ十分デナカッ
タト云フコトニ原因スルモノガ少クナイノ
デアリマス、以下少シク例ヲ擧ゲマシテ御
説明申上ゲマス、然ラバ軍馬ノ資格及能力
ハドウデアッタカ、先ヅ徵發馬ニ付テ申上ゲ
マス、今次事變ニ於キマシテ、徵發馬ノ軍

馬トシテノ資格及能力ニ缺ケタ所ガ多クアリマシテ、爲ニ一面病馬ヲ多發スルノ原因トナリマシテ、他面軍ノ行動ニ影響ヲ及シタコトガ少クナカッタノハ最モ遺憾トスル所デアリマス、徵發馬一般ノ資格ヲ、出征部隊ノ一部約〇〇頭ニ付キマシテ調査ヲシタ結果ニ依リマスレバ、其ノ用役別ニ依リマシテ多少ノ差ハアリマシタケレドモ、甲ノ資格ニ屬スルモノガ概ネ三割、乙ニ屬スルモノガ五割、丙ガ二割、一方騎兵乘馬ニ於テハ甲ガ比較的多ク、砲兵乗馬ニハ甲ガ少ク、乙ガ比較的多カッタ、山砲隊馬及機關銃隊馬ニ、甲ガ少クテ丙ガ多イコトヲ示シテ居リマス、即チ之ニ依ッテ見マスレバ、嶮難ナ山地ニ驅ケ上リマシテ、歩兵其ノ他ノ兵士ト辛苦ヲ共ニシナケレバナラス此ノ山砲隊馬、機關銃隊馬ト云フモノニハ比較的惡イモノガ居ッタト云フコトヲ示シテ居ルノデアリマス、只今資格ノ中デ資格甲ト申シマシタノハ、マア平時軍隊デ保管ヲシテ居ル馬ニ準ジタ軍馬タルノ能力ヲ發揮シ得ルモノデアリマスガ、乙及丙トシテ擧ゲタモノハ、平時軍隊ガ持ッテ居ル馬ニ比較スルト非常ニ遜色ノアルモノデアリマス、就中丙ニ至リマシテハ已ムヲ得ズ是ダケ數ガ要ルト云フノデ充足上已ムヲ得ズ徵用シタモ

ノト看做シ得ルノデアリマス、從ッテ丙ノ多イ部隊ガ如何ニ戰力ノ程度ガ下ルカト云フコトハ推察スルニ餘リガアルト思フノデアリマス、以上ハ一般的ニ付テ資格ヲ申上ゲマシタガ、次ニ其ノ中共通的ニドシナ缺陷ガアツカト申シマスルト、徵發馬ガ軍馬タル資格及ビ能力ニ缺ケテ居リマシタ譯ハ、詰リ馬格上其ノ資格ガ十分デナカッタ、民間ニ於キマスル所ノ馬ノ飼育管理ガ適正デナカッタ、馬天與ノ能力ヲ消磨シ居ッタト云フコトニ原因スルノニ外ナラナイノデアリマス、馬ノ資格ガ十分デナカッタ、其ノ上ニ飼育管理ガ適切デナカッタ、ダカラ馬ノ本然ノ能力ガ發揮シ得ラレナシ、斯ウ云フコトデアリマス、尙之ヲ馬格上ノ見地カラ申シマスレバ、徵發馬ハ一般ニ體幅骨量ト申シマスカ、身體ノ幅ト骨ノ太サニ乏シク、胸ガ狭ク脚バカリガヒヨロ長ク、體質ハ虛弱、モウ斯ウ云フコトデアリマスレバ、軍馬ノ重要ナ負擔力トカ、挽曳力トカ、持久力ニ缺陷ノアルコトハ勿論ノコトデアリマス、ノミナラズ管理飼養ガ惡イ爲ニ各種ノ惡癖ヲ持ッテ居ル、蹴ル、嚙ム、喰付ク、惡癖ヲ有スルモノ、又強ガリ過ギテ所謂悍威ニ過ギルモノ、サウ云フヤウナ癖ガ多クテ之ヲ乘御シ使役スルニ不

便ヲ感ジタモノガ少ナクアリマセス、而シテ從來ノ馬ノ改良ノ成果ハ、朝野絶大ノ努力デアツタノニモ拘ラズ、以上ノヤウナ狀態ヲ見マスト、未ダ満足スベキ狀態デナカッタコトヲ此ノ戰役ノ結果思ハシムルニ至ツタノデアリマス、尙又平素民間ニ於キマスル所ノ飼育管理ノ適切デナカッタ其ノ結果ト致シマシテ、徵發馬ノ大多數ハ發育ガ不全、不良、營養ガ不良、軍馬トシテノ勞役ニ堪ヘズ、モウ僅カナコトニ過勞ヲ覺エ瘦セテ、サウシテ前申上ゲマシタ通り癱疾ニ陥ル、就中平素筋骨ノ鍛鍊ガ十分デアリマシタ爲ニ、軍役ニ就ク内其ノ作業ニ堪ヘマセス、忽チニ故障續出ト云フコトニナツタノデアリマス、是ハ勿論ノコトダト思フノデアリマス、胸幅ガ狭ク、脚ガヒヨロシテ鍛鍊モ何モナイ、ヒヨロシノモノガ前申上ゲマシタヤウナ地形、其ノ作戰ガ廣範圍ニ互ッテ連日連夜長時日ニ互ッテ、之ニ堪ヘ得ラレナシタコトハモウ申上迄モナイコトト思フノデアリマス、其ノ外調教トカ馴致ノ十分デアリマシタ爲ニ、軍馬トシテノ能力ヲ發揮シ得ラレナカッタバカリデアリマセズ、將兵ノ使役乘御共ニ不便ガ多ク、出動部隊ノ將兵ニ是等ノ點カラ迷惑ヲ與ヘタ點モ亦看過シ得ナイモノガ多イノデアリ

マス、次ニハ軍隊ニ徵發スル前ノ用役別ニ依ル能力ハドウデアツカト云フコトヲ、一應觀察シテ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、軍ニ徵發シタ馬ノ中デ應徵前、詰リ徵發セラレル前ノ用役ニ依リマシテ、其ノ能力ニ差異ノアツタコトモ亦見通スコトガ出來ナイノデアリマス、即チ都市ノ荷馬車馬、是ガ成績ガ最モ良好デアリマシテ、假令馬格上ハ缺陷ガアリマシテモ、筋骨ノ鍛鍊ガ十分デアツタ、デアリマシタカラ是ハ相應ノ能力ヲ發揮致シマシテ軍ニ貢獻シタノデアリマス、次ハ百姓馬デアリマス、農馬デアリマス、農馬ハ之ニ反シマシテ馬格ガ不揃デアツタバカリデナク、又其ノ馬格ガ良好デアツタモノデモ、筋骨ガ薄弱損廢シ易カッタノデアリマス、併シナガラ最近ニ至リマシテ馬政局ノ軍用候補馬鍛鍊施設ガ段階普及スルニ伴ヒマシテ、此ノ弊ハ漸次改善セラレツ、アルノヲ如實ニ認メマスルノハ喜バシキ現象デアリマス、次ニハ乘馬俱樂部用ノ乘馬並ニ競走用ノ馬ハドウデアツカト斯ウ申シマス、其ノ數ハ少ク、全般

的ノ判斷資料トシテ茲ニ完全ナ結論ハ申上ゲラレマセヌケレドモ、其ノ成績ハ先ヅ香バシカラズ、殊ニ貴血ニ富メルモノハ、即チ良イ血ノ澤山入ッテ居ル貴血ニ富ンダモ

ノハ、隊馬トシテノ粗笨ノ管理ニハ堪ヘマセヌ、餘リオ上品過ギテ、マヅイモノヲ食ヘバ直チニ榮養不良ニ陥ッテシマフ、又ビンビンシ過ギノテ居リマスノデ、兵隊ガ乗ッテ之ヲ軍馬トシテ使フノニ適シナイト云フヤウナ非難ノ聲ハ各所デ聞キマシタ、次ニハ牝馬ノ狀況デアリマス、徵發馬中妊娠ヲシテ居リマシタ所ノ牝馬ハ、徵發時期、徵發地、竝ニ充當部隊ニ依リマシテ異ッテ居リマスケレドモ、生産地牝馬充當部隊ニ於キマシテハ相當多數ニ上ッタモノガアリマス、而シテ是等ハ戰地ニ於キマスル劇役ノ結果流産ヲ致シマシテ、其ノ上過勞ニ陥リ斃死ヲスルニ至ッタモノガアリマシタノハ、私共誠ニ遺憾ニ堪ヘナイ所ノミナラズ、此ノ活兵器ニ對シマシテ誠ニ深甚ノ同情ヲ表スル次第デアリマス、次ニ平時保管馬ニ付テ申上ゲマス、前申上ゲマシタルコトハ民間カラ徵發シタ馬ノ成績デゴザイマシタガ、此ノ徵發馬ノ成績ニ反シマシテ、平時軍隊ガ保管ヲシテ居リマシタル馬ハ、是ハモウ資格ニ於キマシテモ、能力ニ於キマシテモ、軍馬トシテ概ネ満足スベキ狀態ニアッタコトヲ立證致シテ居ルデアリマス、デアリマ스가平時保管馬ハ數ニ於テ甚ダ少ク、全馬數ノ僅カニ若干ニ過ギナイノデゴザイマスル

ケレドモ、能ク出動馬ノ基幹トナッテ泥濘地ノ通過、急坂路ノ攀登等ニ際シ、徵發馬ノ殆ド役ニ立タナイヤウニナリマシタ場合デモ、尙能ク其ノ能力ヲ發揮致シマシテ、軍隊ノ行動ヲ容易ナラシメタバカリデアリマセズ、戰機ヲ逸スルコトナクアノ大作戰ヲ遂行シ得タト云フコトハ、是亦注目ヲ要スル點デゴザイマス、而シマシテ戰場ノ一部ニ於キマシテハ、平時保管馬ダケデ編制行動シタ部隊モアリマシタケレドモ、是等ハ極メテ優秀ナル成績ヲ現シタ、徵發馬ヲ交フル他ノ部隊ト殆ド霄壤ノ差ガアルコトヲ示シテ居ッタノデアリマス、ソコデ此ノ結論ト致シマシテハ、如何ニ平時保管馬ヲ合理的ニ保管ヲシ、訓練ヲシタ馬ガ、如何ニ役立ツカ、如何ニ強イカト云フコトヲ示ス證據デゴザイマス、次ニハ支那馬ノ實驗的價値ヲ御參考ニ申上ゲマス、今事變發生以來支那馬ノ使用頭數ハ前申シマシタ通り〇〇頭ニ上ッテ居ルデアリマスガ、是等ハ單ニ後方部隊バカリデハゴザイマセヌ、前線ニ於キマスル戰鬪部隊ニ於キマシテモ、其ノ用役ノ種類ニ依ッテハ使役ヲシテ居リマス、サウシテ偉大ノ效果ヲ擧ゲツ、居ルデアリマス、就中現地ノ氣候、風土及ビ飼料ニハ能ク馴レテ居リマスルノデ、使フニモ、管

理ニモ、極ク是ハ簡便デゴザイマシテ、山地、不齊地ノ行動比較的巧デアリマス、其ノ上ニ持ッテ來テ、徵發モ、補充モ、容易デアリマスカラ、各部隊ノ好評ヲ博シテ居リマス、以上ノ點カラ見ルト、非常ニ宜イヤウデハアリマスルガ、併シ其ノ缺點ヲ申シマスルト、歩度ガ遅ク、力量ガ乏シク、總能力ガ日本馬ニ及バナイコトハ勿論デアリマシテ、騎兵乘馬、砲兵輓馬等ニハモウ殆ド適シマセヌ、唯行李輓駄馬ト致シマシテ實役價値ハアルノデゴザイマスルガ、輓曳力、負擔力ハ今申シタル通り日本馬ニ比スレバ、チヨット數字カラ申シマシテモ能力ハ三分ノ二ニ過ギナイノデアリマス、次ニ國民ノ馬事知識向上ニ付テ申上ゲマス、今次事變ニ於キマスル所ノ病馬發生ノ原因ト致シマシテハ、前申シマシタル通り出動部隊ニ於キマスル馬取扱ノ粗漏、愛護ガ不十分ダト云フコトヲ指摘致シマシタガ、實ニ一部ハ之ニ起因シテ居ルデアリマス、而シテ此ノ點ニ關シマシテハ、軍自體ノ反省ハ固ヨリ、將來馬事教育ニ一大刷新ヲ加ヘマシテ、軍馬ノ衛生狀態ヲ良好ニ保持シ、其ノ天賦ノ性能ヲ發揮セシムルニ努力セネバナラヌト云フコトハモウ當然ノコトデアリマス、併シナガラ是ハ畢竟我ガ國民ガ一般

ニ、馬取扱ノ何タルヲ解スルコトガ十分デナク、愛馬心ニ甚ダ乏シイ結果ト云フコトハ爭ハレナイ事實デゴザイマス、デアリマスカラ、國民全般ニ對シマシテ、馬事知識ヲ普及シ愛馬心ヲ涵養スルコトガ、極メテ緊要事デアルコトヲ信ゼズムバアラズト云フ狀況デアリマス、殊ニ我ガ國民ノ多クハ、馬ニ接スル機會ガ甚ダ少イノデゴザイマスルニモ拘リマセズ、時代ノ趨向ハ益々馬ト隔絶ヲシツ、行ク關係ニアルノデアリマス、中ニハ馬ヲ野獸視シ、或ハ反對ニ機械視スル等ノ惡思想ト云フモノハ、直チニ戰時召集セラル、所ノ在郷兵、特ニ未教育ノ兵ニ反映致シマシテ、今次事變ノ如キ惡イ結果ヲ生ズルモノナキヲ保シ難イノデアリマス、從ッテ今後國民ノ馬事知識ヲ向上スルト云フコトニ關シマシテハ、特ニ朝野ノ一大發憤ヲ要スルモノト認メラル、ノデゴザイマシテ、特ニ一言ヲ申シ進ジタ次第デアリマス、最後ニ以上縷々御報告申上ゲマシタガ、是ガ大體ニ於テ今次事變ニ於キマスル所ノ出征軍馬ニ對スル極メテ概要ノ御説明デアリマス、之ヲ要シマスルノニ、本事變出征軍馬ハ、事變發生以來皇軍ノ重要ナル一要素ト致シマシテ、攷々黙々トシテ各種ノ重大ナル任務ニ服役ヲシテ、偉大ナ成果ヲ擧

ゲツ、アルノハ衆目ノ見ル所デアリマス、デアリマスガ、其ノ大部ヲ占ムル微發馬ハ資格能力ノ不十分、其ノ他各種ノ原因ニ依リマシテ、軍ノ希望スル成績ヲ擧ゲ得ナイノミナラズ、無益ノ犠牲ヲ拂ヒツ、アルノハ誠ニ遺憾ニ堪ヘナイ所デアリマス、今ヤ事變ハ長期戦ノ階段ニ入り、國軍方軍馬ヲ必要トスルコトハ愈々大ナラムトスル時ニ

イマスガ、ソレニ付テ私、軍當局ニ現在ノ公認競馬ノコトニ付テ一言御伺ヒ致シタイノデゴザイマス、是ハ一昨日モ慥カ伺ッタコトト思ッテ居リマスガ、輕種ハ軍用ニナラヌノダ、併シ種馬トシテ其ノ血液ヲ保存スル上ニ於テ現在ノ儘デ宜イト云フヤウナ御答デアツカカト思ッテ居リマスガ、違ヒマシタラ御訂正ヲ願ヒマス

○政府委員(中村明人君) 是ハ非常ニ後ニ

必要ニ迫ラレテ、今般軍馬資源保護法案ノ御審議ヲ願フコトニナツタ次第デゴザイマス、ドウゾ以上軍ト致シマシテ非常ナル必要ニ基イタ資源保護法案アルノデアリマスカラ、之ガ一日モ速カニ實行ニ移ルト云フコトハ、即チ軍ノ能力ヲ一日速カニ強メルト云フコトニナル次第デゴザイマシテ、御審議ヲ深ク御願ヒスル次第デゴザイマス、終リ

○委員長(伯爵澤口直亮君) 筆記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵澤口直亮君) 速記ヲ始メテ

○子爵高倉鷹麿君 只今支那事變ニ付キマシテ、アチラニ出征ニナツテ居ル軍馬ノ状態ハ能ク軍務局長ノ御説明ニ依リマシテ分リマシタ、我々ト雖モ一朝有事ノ際ニ軍馬ノ必要ナルコトハ無論存ジテ居ルノデゴザイ

モ問題ニナルト思ヒマシテ、本日先般ノコトハ言ヒ足ラスト思ヒマシタカラ調べテ参リマシタ、一應ハキリ申上ゲタ方宜イカト思ヒマス、公認競馬ニ對シマスル所ノ軍ノ觀察ヲ申上ゲマス、公認競馬ノ目的使命ハ、馬ノ改良ニ必要ナル種馬ノ能力檢定ヲ致シマシテ之ヲ嚴選スルノニアルノデアリマス、即チ之ニ依リマシテ眞ニ馬ノ改良ニ必要ナル種馬ノ能力、即チ筋、腱、心、肺、其ノ強イカ弱イカト云フコトヲ試驗ヲシ、又其ノ馬ノ精神力デアル、詰リ氣力デアル所謂悍威、稟性ノ程度、之ヲ試驗ヲ致シマシテ、其ノ優秀ナルモノヲ選拔ヲシテ之ヲ繁殖界ニ送り出シ、以テ馬ノ改良ニ寄與セムトスルモノデアリマシテ、此ノ點ガ將來軍馬トシテ良イ馬ガ出ル、軍トシテモ大イニ關心ヲ持ッテ居ル點デアルノデゴザイマ

ス、而シテ此ノ試驗檢定ノ方法ト致シマシテハ、現在ノ如ク詰リ公認競馬ガ現レルノデアリマスガ、無論非公開ノ場所ニ於キマシテコソリ宜イ加減ニヤツテ其ノ判定ヲスルヤウナコトガアルカモ分リマセスガ、ソレハ誤ル場合ガ多イノデアリマシテ、ソナコトヲシテハ此ノ試驗檢定ノ方法トシテ不適當デアリマスカラ、之ガ爲ニ多數ノ觀衆ノ面前デ、而モ彼等ガ財産ノ一部ヲソレニ賭ケテ、自分ノ利害モ深ク念頭ニ置イテ最モ眞劍ニ思索、凝視、其ノ間ニ勝敗ヲ爭ハシムルノデアリマス、デアリマスカラ斷ジテ八百長ノ勝負ハ許サナイノデアリマス、之ニ依テ以テ種馬タルベキモノノ優劣ノ判定ガ、宜イ加減ニヤツテ八百長ノニヤツテ誤ルヤウナコトガ絕對ナイヤウニスル必要上、公認競馬ト云フモノガ許サレテ、又其ノ結果ガ種馬ノ改良ニ非常ニ役立ツト云フコトニナルト思フノデアリマス、是ガ即チ軍ガ今日迄公認競馬ニ期待ヲシテ居ル所デアリマシテ、馬ノ改良上、換言ヲシマスレバ、能率ノアル軍馬ヲ作ル上ニ於キマシテモ此ノ公認競馬ト云フコトガ必要デアリ、且其ノ方ニ有效ノ施設ト認メル譯デゴザイマス、尙今日輕種ガ軍馬トシテ適當デナイト判定セラレタノハ、輕種ヲ以テ行

フ競馬ハ無意味デハナイカトノ論議ガアルノデアリマスルガ、是ハ御心配ノナイコトダト思フノデアリマス、蓋シ輕種ガ軍馬トシテ適當デナイト云フ眞意ハ、其ノ輕種ノ血量ノ多イモノ、即チ非常ニ輕イ馬ガ實役馬タル軍馬ニ適シナイト斯ウ云フコトデアリマシテ、輕種ノ血液其ノモノヲ排撃シテ居ルノデハナイノデアリマス、ノミナラズ、其ノ輕種ノ血液其ノモノハ馬ノ改良上絕對ニ必要ナコトハ、論ヲ俟タナイノデアリマス、私共ガ有能ナル軍馬ト認メルモノハ、何レモ若干程度ノ輕種ノ血量ト云フモノヲ持ッテ居ラネバナラスト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、即チ公認競馬ハ、右ノヤウナ馬ノ改良上絕對ニ缺クコトノ出來ナイ輕種ノ血液ヲ最モ嚴選ヲシテ、本當ニ、八百長デナク、實際ニ眞劍ニ嚴選ヲスル所ノ施設トシテハ適切ナルモノト謂ハザルヲ得ナイノデアリマス、デアリマスカラ、單ニ輕種ト云フ二字ダケカラ考ヘテ行キマスト、一見輕種本位ノ公認競馬ハ、實役馬造成ニハ關係ノナヤウナ感ガスルコトハ、其ノ通りデゴザイマスケレドモ、前申シマシタ理由ニ依リマシテ、所謂輕種ノ純粹ナ血液ヲ先ヅ以テ嚴選スルト云フコトガ、或種ノ輕種ノ血液ヲ軍馬ニ注入スルニ必要ナ

ル源トナリ、其ノ本トナルモノダト考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙競馬ニ付キマシテハ此ノ外、謂ハムガ爲ニハ色々ナ理由モゴザイマセウ、ソレハモウ申上ゲル迄モナイコトト思ヒマスカラ省略ヲ致シマシテ、最後ニ一言特ニ申シ進ジテ置キタイト思ヒマスルコトハ、公認競馬ト云フモノハ馬ノ改良ニ、前申シタ通り必要ナル種馬ノ選擇取得ト云フコトニ有效適切、且必要ナル施設ト認メラレマシテ、軍ト致シマシテモ軍馬資源ノ涵養ニ最モ有效ニ之ヲ寄與セシメタイ見地ニ於キマシテ、此ノ競馬ニハ期待ヲシテ居ルモノデアリマス、併シナガラ其ノ目的ガ明確デナク、施行法ガ適切デナカッタナラバ、軍馬ノ資源涵養ニ惡影響ヲ與ヘルバカリデアリマスルカラ、嚴ニ其ノ施行法ト云フモノハ監視ヲシ、ソレヲ嚴正ナラシムルコトガ必要ナモノト認メルノデアリマス、又競馬ガ博突デアアルカドウカト云フコトノ問題モ屢々起ル問題デアリマスガ、是ハ以上申シマシタル見地ニ於キマシテ博突デアアルト云フコトニハ軍ハ從來認メテ居リマセヌ、從來ノ議會ニ説明ヲシタ所ヲ調査致シマスルノニ、次ノヤウナ見地ニ此ノ點ハ説明ヲセラレデ居リマス、此ノ競馬ト云フモノハ無論金ヲ賭ケルノデアアルガ、併シ

其ノ賭ケル其ノ人ハ、其ノ馬ノ性質ナリ馬ノ體格骨量、其ノ馬ニ付テハモウ總テ嚴正ニ觀察觀察ヲシテ、アノ脚ノ踏込ミナラバ速カラウ、アノ脚ノ込ミナラバ遅カラウ、此ノ騎手ナラバドウ、此ノ地形ナラバドウ、此ノ天候ナラバドウト、起リ得ル所ノ森羅萬象總テ自分ノ智力ノ働ク限ニ於テ思案銓衡ヲシテ、サウシテ最モ眞劍ナル態度ヲ以テ茲ニ其ノ一ツノ自己ノ眞劍サヲ現ス所ノ、何ト申シマスカ利害關係ニ於テ馬券ヲ買ヒ、前申シマシタルヤウナ、而モ其ノ行動ガ、私共ノ必要トスル點ニモ合致スルモノガアルノデアリマスカラ、之ヲ一樣ノ博突トハ見ヌト、斯ウ云フヤウナ意味ノ御説明ガアルノデアリマス、此ノ機會ニ何カノ御參考ニナルカト思ヒマシテ、一言附加ヘテ置ク次第デアリマス、只今ノ御質問ニ併セテ御答ヘ致シタ次第デアリマス

○子爵高倉篤磨君 只今陸軍ノ當局カラ縷縷御述ニナリマシタコトハ又私モ御同感デゴザイマス、又公認競馬ガ馬ノ増殖改良ニ寄與シテ居ルコトモ是モ認メテ居リマス、併シナガラ只今陸軍ノ當局ガ御述ニナリマシタ如ク軍馬ニ役立ツトハ、私ドウモ思居ラヌノデアリマス、多少ハ役立ツテ居リマセウ、ソレノミナラズ血液ノ御話モ出マシタ

ノデスガ、今ノ公認競馬ノ種類ハ大體「サラブレッド」「デゴザイマス」、無論「アングロアラブ」「モ入ッテ居リマス」ケレドモ、寧ロ「サラブレッド」ニ近イト私ハ思ッテ居リマス、シテ見レバ軍馬トシテハ是ハ如何ト思ッテ居ルノデゴザイマス、先日モ此ノ公認競馬ノ目的ト云フモノハ、軍馬ト産業上ノ馬ノ爲ニ設ケラレテ居ルノデアアルカラシテ、今回軍馬資源保護法案ヲ出サレテ、其ノ中ニ優等馬票所謂馬券ヲ速歩競馬ヲ許スナレバ、寧ロ此ノ公認競馬ノ方ニヤラレタラドウデアリマスカト申上ゲタノデゴザイマスケレドモ、ソレモサウ行カナイヤウナ御答辯デゴザイマシタ、シテ見ルトドウモ此ノ公認競馬ノ目的ノ大半ハ失ハレテ居ルノデヤナイカト私ハ想像シテ居リマス、假ニ一歩ヲ譲リマシテ、其ノ必要ガアリト致シマシテモ、アノ壯大ナル設備ヲ擁シ、色々ナ非難ヲ受ケナガラ、十一箇所モ公認競馬ヲ設ケテ居ル必要ガナイト思フ、二三箇所ニシテアト廢シテ宜イカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレデ私ハ大正十二年ニ再ビ競馬法ガ提案サレマシタ時ニ、其ノ時以來此ノ速歩競馬ニ付キマシテハ、趣味本位ヲ本體トスル外國ノ競馬ハイザ知ラズ、日本ノ競馬ニ於キマシテハ、其ノ目的ノ上カラ申シマシテモ

寧ロ害ガアルモノデアアルト云フコトヲ申述べテ、其ノ廢止ヲ其ノ度毎ニ申シテ居ッタデアリマスガ、今日迄顧ミラレナカッタノデアリマス、今回軍當局ノ御要望ニ依リマシテ、經過ハ徐々デアリマスガ廢止セラレルコトニナリマシタ、私ト致シマシテハ寧ロ勿論本望デアリマスケレドモ、ソレ以外ノコトニ付キマシテハマダ弊害ノコトハ多々アルト思ヒマス、只今軍當局ノ御言葉ノ中ニ、競馬ハ賭博ニアラズト云フ御言葉ガデゴザイマシタガ、私モ無論競馬ハ賭博デアルトハ考ヘテ居リマセヌ、尙其ノ點ニ付キマシテモウ少シ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(中村明人君) 相當ニ御詳シイ御専門ニ瓦ルヤウナ御質問ヲ受ケマシテ、此ノ點ハ寧ロ私ヨリモ、本職ノ馬政方面ノ御答辯ノ方ガ宜イカト思ヒマスノデ、其ノ方面ニ一ツ御願ヲシテ、軍ト致シマシテハ先程申シマシタル通り、軍馬ニ寄與スル點ハ、優良ナル種馬ガ出テ其ノ結果十分軍馬ノ改良ト云フコトニモナルト云フコトヲ深ク認メテ居ルノデアリマス、其ノ専門的ノ見地カラ血液等ヲ論ジタ場合ニ、御質疑ノヤウナ點ニ關シマシテ如何ニ當局ガ見テ居ルカト云フコトハ、前申シマシタル通り專

門ノ一ツノ御答辯ヲ御願フシテ満足ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 只今ノ問題ニ付キマシテハ、私共モ只今ノ陸軍ノ政府委員ガ申シマシタト同意見ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、尙馬ノ改良ノ爲ニ「サラブレッド」ノ輕種ノ必要ナル所以ニ付キマシテハ、専門ノ説明員カラ御説明ヲ申上ゲマス

○説明員(佐々田伴久君) 便宜私カラ申上ゲタイト思ヒマス、昨日ノ委員會ニ於キマシテ、長官ヨリ競馬法ニ依ル競馬ニ於テ能力ヲ檢定スベキ、詰リ是カラ取得スベキ種馬數ヲ仰セニナリマシタ、モウ一遍之ヲ繰返シマス、大體今回ノ馬政計畫ニ於キマシテ軍ノ御要望ニナリマス馬ヲ生産致シマス爲ニ要リマス種馬ノ中、輕種ニ屬スルモノガ約二百頭ヲ考ヘテ居リマス、ソレデ此ノ輕種ヲ造リマス爲ニ、輕種ノ種牝馬ヲ約四千五百頭バカリ要スル譯デアリマス、從ッテ此ノ二百頭ノ種牝馬、四千五百頭バカリノ種牝馬ノ補充ノ爲ニ、年々種牝馬ヲ約二十頭、種牝馬ヲ約四百五十頭バカリ取得シテ行クコトニ相成ルノデアリマス、是等ハ後デ御審議ヲ願フコトニナッテ居リマス種馬統制法ニ依リマシテ、將來輕種生産ニ適當ナル優良ナル種牝馬ヲ檢定致シマシテ、大體

二歳三歳ニ於テ檢定致シマシテ、之ヲ競馬法ニ依ル競馬ニ出走セシムルノデアリマス、サウシテ能力檢定ヲシタモノノ中ニハ、馬格ハ勿論モウ檢定済デアリマスカラ相當ノモノデアリマスルガ、更ニ能力ヲ檢定シマシテ、能力ノ優秀ナルモノヲ購入シ、又蕃殖界ニ送ッテ生産ニ用ヒル譯デアリマス、種牝馬ハ購入スルノデアリマスガ、種牝馬ハ地方ニ於テ蕃殖ニ使フ譯デアリマス、此ノ中ノ種

類ノ關係デゴザイマスガ、輕種ハ御存ジノヤウニ「アラブ」「アングロアラブ」「サラブレッド」、ソレカラ只今ノ種類稱呼デハ「アラブ」系種、「サラブレッド」系種ト云フ五種類ニナッテ居リマスガ、其ノ中デ「サラブレッド」系統ノモノハ大體四割、アトノ六割ハ「アラブ」系統ヲ考ヘテ居リマス、ソレ等ノ關係デゴザイマシテ、決シテ「サラブレッド」ニ重點ヲ置イテハ輕種ヲ考ヘテ居ナイ、「アラブ」系統ノモノハ飼養管理モ容易デアアルシ、又軍馬ノ改良トシテハ「サラブレッド」ヨリモ相當之ヲ供用スルノニモ範圍ガ廣イノデゴザイマス、ソレ、「サラブレッド」ノミニ偏重シテ居ナイト云フコトダケヲ御答ヘ申上ゲテ置キマス

○男爵關義壽君 只今種牝馬トカ種牝馬トカ御話ニナリマシタガ、種牝馬ト云フノハ

種牝馬ヲ造ル所ノ種牝馬デスカ、或ハ一般ノ種牝馬デスカ、ドッチノ種牝馬デスカ、ソコヲ伺ヒマス

○説明員(佐々田伴久君) 只今申上ゲマシタ輕種ノ中ニハ、種牝馬ヲ造リマス種牝馬ト、ソレカラ軍ノ御要求ニナッテ居ル軍馬ノ中間種ノ改良ニ使ヒマスル種牝馬ト二通りゴザイマス、輕種ノ種牝馬ノ中デ、輕種自體ノ、輕種ノ種牝馬ニ使ヒマス種牝馬トソレカラ中間種ノ軍馬ヲ作ッテ行ク種牝馬ト兩方此ノ中ニゴザイマス

○男爵關義壽君 ソレガ所謂一割ノ二十頭ノ種牝馬ト考ヘテ宜イノデアリマス

○説明員(佐々田伴久君) 種牝馬ノ總數ハ馬政計畫ニ載ッテ居リマスルガ、其ノ中デ輕種ニ屬シマスルモノ約二百頭混用スルト云フコトニ考ヘテ居リマス、ソレカラ混用致シマス種牝馬ノ中、輕種ヲ作ッテ行ク種牝馬ノ種牝馬ト、ソレカラ中間種ノ改良ニ用ヒルモノトゴザイマス、中間種ニ用ヒマスルモノノ中、中間種ノ種牝馬ヲ作ル種牝馬モ其ノ中ニ勿論入ッテ居リマス、併シ其ノ中間種ヲ配合致シマスモノノ中ニハ、五十「パーセント」ノ輕種ノ血ヲ受ケタモノガアリマスカラ、種牝馬ニ取ツタ残りハ軍馬ニ相成ル譯デアリマシテ、兩方含ンデ居ル譯デゴ

ザイマス

○子爵西尾忠方君 先刻ノ御話ノ中デチヨット伺ッテ置キタイノデアリマス、今事變ハ、戰傷、戰死馬ガ多イコトガ今事變ノ特色デアルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ馬産ノ關係トドウ云フヤウニ解釋サレルノデスカ、實際ノ戰役ノ狀態ガ馬ヲ殺スヤウナ狀況デアッタノデアリマセウカ、其ノ點ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中村明人君) 詳シク申上ゲマスト必ズ御納得出來ルト思ヒマスガ、作戰上ニ餘リニ關係スルコトハ御遠慮シテ戴キマシテ、大體ノ點ヲ申上ゲマスト、御承知ノ通り今迄ノ戰役ハ後方ト云フモノハ割合安全デアリマシタガ、今次ノ事變ニ於キマシテハ、後方ガ場合ニ依リマシテハ寧ロ第一線ヨリモ、私共ノ體驗ニ依リマシテモ安全デナカッタ場合ガ、可ナリ多クアリマシタ、寧ロ多イト言ツタ方ガ宜イト思ヒマス、加フルニ事變ノ後期ニ際シマシテハ御承知ノ「ゲリラ」戰術ガ流行シマシテ、是ガ爲ニ一層後方ノ不安ヲ増シテ、其ノ損害ヲ多カラシメタ點デアリマス、次ニハ先程申上ゲマシタル通りニ敵軍ノ素質ト殊ニ地形、各方面ノ地形等ガ之ヲ要シタ爲ニ、戰馬ガ第一線ニ迄近ク出テ活動シタト云フ戰鬭ガ

多イノデアリマス、即チ第一線ニ出シタ、此ノ二點ガ先ヅ重要ナル原因トシテ申上デ、又御諒解ヲ願ヘルコトト思ヒマス

○子爵西尾忠方君 ソレカラモウ一ツアノ病馬ノ種類ト云フ中ニ、鞍傷ガ非常ニ多カッタト云フ御説明デアリマスガ、是ハ矢張り此ノ馬ノ改良其ノ他ノ方面カラドウ云フ關係ガアリマセウカ、其ノ點ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中村明人君) 是モ色々ノ關係ガアリマスガ、先ヅ私共自ラ反省セネバナラス點モアリマス、其ノ方面ハ所謂馬ノ鞍デアリマスガ、今回ハモウ各種ノ馬ヲ使ッテ居リマス、殆ド私共戰場デ見マシテモ大小、横幅、總テ馬ニ付テ考ヘラレルヤウナ馬ハ皆使ッテ居ルノデヤナイカ、斯ウ思ハレルヤウナ狀態デアリマシテ、其ノ各ノ馬體ニ適スルヤウナ鞍ガ之ニ伴ハナカッタト云フ點ガ一ツ、是ハ自ラ反省セネバナラス點デハナイカト思ヒマス、其ノ次ハ勿論是モ自ラ反省スベキコトデアリマスガ、先ノ御説明ニモ申上ゲマシタル通り案外馬ノ癖ガ惡カッタ爲ニ、兵ガ馬ニ近シミガマダ急ニ出來ナイデ、結局手入ト云フヤウナコトガ不良ニナツタ爲ニ、鞍傷ヲ大キクシタト云フ例モ現ニ私ハ經驗シテ居リマス、是等ノ點

ハ我等ガ自ラ考ヘネバナラスモノデアリマスガ、又一面ニハ馬ノ格好ニモ因ルコトデアアルノガ相當多イト思ヒマス、例ヘバ餘リニ髻甲ガ高イ馬ガアル、或ハ馬ヲ取扱フ兵ト馬トノ相互ノ關係ガ、非常ニ大キナ馬、背ノ高イヒヨロシタ馬ガ多クテ、

鞍置キ取扱上已ムヲ得ズ出來タ、尙今回ノ戰鬪ノ特質ガ、後方ノ非常ニ不安ナ場合ガ尠クナカッタ、ゲリラ戰術ガ流行ッタト云フヤウナ點カラ、所謂後方兵團、輜重ニ屬スルモノガ正々堂々タル規定ノ速度ヲ用ヒル外、敵ガ「ゲリラ」戰ニ出タト云フノデ、急ニ速度ヲ伸バシ、或ハ豫定ヲ變更シ或ハ猛烈ナル強行軍ヲヤル、サウ云フ行動上ノ困難ガ可ナリニ今度ハ多カッタト云フコトヲ私共ハ認メテ居リマス、ソレヤ之ヤノ點デ矢張り鞍傷ガ多カッタト云フコトニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵西尾忠方君 此ノ作戰行動ヲスルトカ、或ハ取扱者ガ馬ニ對スル愛馬心ガ少カッタト云フヤウナ點ハ、是ハ餘程廣イ意味デ我々モ非常ニ考ヘネバナラスト思ヒマスガ、馬自體ニ付テ特テ鞍傷ガ多カッタト云フヤウナ點ニ付キマシテ、馬匹ノ改良ト云フヤウナ方面カラ御話ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、或ハ馬政課長デモドナタデモ、其

ノ方面カラモウ少シ詳シテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中村明人君) 尙詳細ナル點ハ私モ承知ヲシテ居リマセウガ、一應御許ヲ得マシテ馬政課長カラ説明ヲ致サセマス、尙之ニ馬政局方面カラ又附加ヘテ戴キマシテ、尙御納得ノイカヌ點ガアリマスレバ調査ヲシテ御答ヲスルコトニ致シマス

○説明員(栗林忠道君) 只今ノ説明デ大體盡キテ居ルト思ヒマスガ、馬格上カラ申シマスト云フト、輕種ノ血液ガ割合ニ多ク入ッタ爲ニ髻甲ノ高イモノガ多過ギタ結果、鞍傷ニ罹ッタト云フモノガ尠クナイヤウデアリマス、其ノ外ニ非常ニ榮食不良ニ陥リマシタ關係上、鞍甲ガ高過ギテ、鞍ガシシクリト馬背ニ當嵌ラナカッタ、斯ウ云フ關係カラ鞍傷ガ非常ニ多カッタヤウデアリマス、尙又作戰行動ニ於キマシテハ只今縷々申サレタノデアリマスケレドモ、後方部隊等ニ於キマシテハ、鞍ヲ取ル暇モナク、始終、鞍置ヲシテ居ッタ爲ニ鞍傷ニ罹ッタモノガ尠クナイト云フコトモ見聞シテ居リマス

一體ドウ云フコトニナルノデアリマセウカ、假令髻甲ガ高クテモ或ハ低クトモ、適當ニ鞍ヲ修正スルト云フコトハ出來ナイデアリマセウカ、鞍ヲ裝置サレル時ニ適當ニ御考慮ニナツタラバ、髻甲ガ高イ爲ニ鞍傷ガ起ルト云フヤウナコトハナイヤウニ考ヘラレマスガ、其ノ點ヲ軍當局カラモウ少シハッキリ伺ヒタイト思ヒマス、私ノ伺ヒタイノハ此ノ取扱トカ或ハ作戰トカサウ云フヤウナ點ハ色々ナ狀況デ變リマセウカラ、机上デサ云フコトヲ論ジテモ相當實際ノ場面ニ於テハ違ヒマセウガ、馬ノ成良ヲヤラウト云フ際ニ、馬自體ノ骨格トカ或ハ體質ニ依ッテ鞍傷ガ多イト云フコトニナレバ、是ハモウ少シ根本的ニ大イニ考ヘナケレバナラスコトト思ヒマス、其ノ點ヲ其ノ意味ニ於テ伺ッタノデス

○政府委員(中村明人君) 無論個々ノ馬體ニ副フヤウナ鞍ガ出來テ居レバ是ハモウ申シ分ハナイノデゴザイマスガ、一面カラ申シマスト全般的ノ馬背ニ副フ適切ナル鞍ガ、準備ガナカッタト申シマスカ鞍ノ改良ガ之ニ伴ハナシタ結果、結局髻甲ノ高イヤツナドハ鞍摺レガ起ルト云フコトニナツタト思フノデアリマス、只今ノ御説デハ、ソレナラバ鞍ヲ改良シ、ソレニ合スルウヤニ

シタ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ御指摘デアリマシタガ、私共ガ戰地デ扱ッテ居リマシタ馬ハ、寧ロ鬻甲ノ高イト云フヨリハ、瘠セテ骨ガ出テ、ソレガ爲ニ鬻甲ノ寧ロ隆起ヲ見テ、鞍ノ裝著ガ不良ニナッタト云フヤウナ馬ヲ私ハ多ク認メテ居ルノデアリマス、從ッテ唯是ダケノ點デ輕種ノ血量ガ多カッタカラ今度之ヲドウスルト云フコトモ、無論其ノ一ツノ理由ニハナラウト思ヒマスガ、是ガ其ノ血量問題ノ主體ヲ成ストハ私共ハ考ヘテハ居リマセス、此ノ說明ハ御納得ノ行ク說明デハ無論ナイコトト信ジテ居リマスノデ、尙詳細取調べマシテ、御要求ノ點ニ副フヤウニ今後研究シテ後日私カラ御答ヘ致シタイト思ヒマス

○子爵西尾忠方君 只今ノ御說明デ能ク分リマシタ、結構デス

○子爵高倉篤磨君 只今鞍傷ノコトデ御質問ガ出テ居リマシタガ、私ハ専門ノコトハ全然存ジマセヌガ、併シ先刻來申ス如ク競馬馬ニ主ニ熟中サレル結果ガ左様ナ結果ヲ生ズルノデハナイカト思フノデアリマス、先刻說明員ノ御說明ニ付キマシテモ、私ハ此ノ公認競馬ヲ其ノ儘ニ置クト云フコトニ付キマシテハ、チヨット納得ガ行カナイノデゴザイマスガ、是ハ面倒デゴザイマシテ、

何レ後ニ軍馬資源保護法案モ出テ參リマスノデ、其ノ時ニ又御質問ヲ致シタイト存ジマスガ、私ハ此ノ際馬政長官ニ一ツ御尋フ致シタイノデアリマス、ソレハ一昨日競馬法ノ改正ノ意思アリヤ否ヤト云フ質問ニ對シマシテ、馬政長官ハ、大正十二年以來三回モ改正ヲシテ居ルノダ、ソレデ今差當ッテ辯デアッタカト存ジマス、成ル程三回改正ニナッテ居リマス、併シナガラ第一回ノ時ニハ、從來一著馬ノミ配當フヤッテ居リマシタノヲ、其ノ時ニ馬數ニ依リマシテ、二著三著馬ニモ矢張り此ノ拂戻金ヲヤルト云フコトニ相成ッタノデアリマシテ、當時ノ町田農林大臣ハ委員會ニ出席サレマシテ、此ノ競馬法ニ付テハ不滿ナ點モアラウ、又種々疑問ノ點モアラウケレドモ、今回ハ斯ウ云フ譯デ出シタノデアルカラシテ、枉ゲテ贊成ヲシテ吳レト云フヤウナ御言葉デアッタト記憶シテ居リマス、其ノ後ノ二回ハ是ハ政府ノ收納金ヲ増ス爲ニ改正案ガ出サレマシタノデ、所謂政府ノ御勝手ナ條項ノミヲ改正サレタノデアリマシテ、此ノ競馬法ノ弊害ト云フコトニ付キマシテハ、從來ノ改正ノ時ニハ何等觸レテ居ラナイノデアリマス、競馬法ヲ御覽ニナリマスと御分リデゴ

ザイマスガ、大體主トシテ條文ノ多イノハ矢張り勝馬投票券所謂馬券ニ關スル規定デゴザイマス、從ッテ其ノ弊害ノ生ズル所モ馬券制度ノコトデアラウト考ヘマス、私ハ此ノ點ニ付テ少シ申上ゲタガ競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ノ決ヲ定メル上ニ於テ、全然競馬ヲ御承知ナイ方ノ御參考ニモナラウカト思ヒマスノデ、此ノ際チヨット述ベサシテ戴キタイト思ヒマス、御承知ノ通リ此ノ競馬法第四條ニハ所謂馬券ノ價格ハ「五圓以上二十圓以下」トナッテ居リマス、併シ競馬法ガ初メテ制定サレマシタ場合ニ於キマシテハ、多大ノ設備モ要ルコトデアリマスカラ、此ノ最高ノ二十圓ト云フコトヲ行ハレマシテモ私ハ相當ノコトデアラウト思ヒマス、ガ今日ハ餘程情勢ガ變ッテ居ルノデゴザイマシテ、先達テモ會我子爵、大島委員カラモ色々仰セラレマシタガ、唯競馬ハ馬政ヲ改良スル一手投デアルカラシテ、無論馬政ニ關スル費用ハ國ガ當然出スベキモノデアルケレドモ、其ノ金ガ出セヌ間ハ是ハ已ムヲ得ナイヤウナ御說デアッタカト存ジマスルガ、併シ今日ハ、先達テ御話ノゴザイマシタ如ク、競馬ノ收入ト云フモノハ無論一時大藏省ノ收入ニ入リマシテ、ソレカラ更ニ馬政局ニ渡ルノデアリマスガ

ラ、直接競馬ノ費用其ノモノガ入ルトハ思ッテ居リマセヌガ、七百萬圓位ノ金ガアルナラバ、又先刻來御說明ニナッテ居ル通り、馬政改革ガ一朝有事ノ際ニ馬ノ任務ノ重大ナルコトカラ考ヘマシテモ、此ノ位ナコトハ爲シ得ルデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而モ今回競馬法ノ臨時特例ニ關スル法律案ヲ御出シナッテ、政府ノ收入金ヲ増サウト云フ御考デアリマスルガ、此ノ收入ハ過日モ申上ゲマシタ通り多ク馬券ニ依ル收入ガ大部分ヲ占メテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ收入ガ多ケレバ多イ程詰リ馬券ヲ買ッタ者ガ損失ヲシテ居ルト云フコトヲ物語ッテ居ルモノデゴザイマス、ソレト云フノハ、現在日本ノ經濟狀態ニ比シマシテ、二十圓ノ馬券ト云フモノハ高過ギルノデゴザイマス、ソレデ私ハ、一部ニハ五圓ニシタラ宜カラウト云フ說モゴザイマスガ、十圓ニシタラ宜イダラウト云フコトモ是迄申上ゲテ居ルノデゴザイマスガ、二十圓ノ價格ノ今デサヘモ此ノ弊害ガ多イノニ、十圓ニ下ゲタラ尙一層其ノ弊ガ多カラウト云フ御疑念ガアルヤウデゴザイマスガ、是ハ實際常識デゴザイマス、併シナガラ競馬ノ現狀ト云フモノハ、常識ヲ以テ見ラレナイノデゴザイマシテ、十圓ダカラ尙一層買フダ

ラウト云フ御考ハ、是ハ全然間違ッテ居ルノ
デゴザイマス、先達テモドナタデゴザイマ
シタカ、次田サンデゴザイマシタカ、吞屋
ガ減ッタクト云フコトデアルガト云フ御質問
ノ中ニ御言葉モゴザイマシタガ、吞屋ハ減ッ
テハ参ラスノデアリマス、前カラ較ベマス
レバ多少減ッテ居リマセウ、併シナガラ此ノ
二十圓ノ馬券ト云フ制度ヲ持續シテ居ル間
ハ決シテ、減ルモノデヤナイノデゴザイマ
ス、詰リ二十圓ノ馬券ヲ買フト云フノハ極
ク僅カナ人デゴザイマシテ、多クハ吞屋ノ
手ヲ經テ、甚ダシイノハ五十錢ナリ一圓ナ
リヲ出シテ吞屋ノ手ヲ經テ其ノ自分ノ欲ス
ル馬券ヲ買ハウト致スノデゴザイマシテ、
競馬協會ノ方ヘ参リマスレバ、ドウシテモ
二十圓出サナケレバナラスノデゴザイマス
ガ、吞屋ノ手ヲ經レバ、假令ソレダケノ金
ガナクとも、五十錢ナリ一圓ナリノ金ヲ出
シテ自分ノ欲スル馬券ヲ買フトコトガ出
來ルノデアリマスカラ、ドウシテモ吞屋ニ
頼ッテ行クコト、是ハ當然ノコトダラウト思
ヒマス、從ッテ吞屋ノ數ヲ減サウト云フコ
トハ、馬券ノ價格ヲ下ゲルヨリ外ニ方法ハ
ナイノデゴザイマス、ソレノミナラズ他ノ
理由ト致シマシテモ、今日餘程馬ノコトニ
付キマシテハ一般大衆モ巧者ニナッテ居リ

マスカラ、評判ニナル馬、必ズ著ニ入ル馬、
所謂本命ト申シマスカ、本命ノ馬ヲ誰シモ
買ヒマスノデ、其ノ馬ヲ買ヒマスレバ、其
ノ拂戻ハ僅カホカ参ラナイ、必ズ其ノ本命
ガ参リマスレバ宜シウゴザイマスガ、時ニ
依ルト調教ノ工合トカ、又多少冒險的ニ馬
券ヲ買フ人多イ爲ニ他ノ馬ヲ買フトモ
ゴザイマスノデ、其ノ馬ガ來ナイト云フコ
トガ往々アルノデアリマス、其ノ時ニハマ
ア一枚買ヘバ二十圓デゴザイマスガ、中ニ
ハ五枚ノ人ガゴザイマス、五枚買ヘバ百圓
デゴザイマスガ、其ノ金ガ失ハレルノデア
リマス、サウ致シマスレバ、其ノ金ヲ恢復
スル爲ニ八日間ノ一期競馬ニ於テソレヲ恢
復スルト云フコトハナカ／＼困難デアリマ
ス、或場合ニハソレハ出來ナイ相談デア
アルノデアリマス、從ッテ此ノ條文ニモゴザイ
マス通り馬券ハ一人一枚ト云フ制限ガゴザ
イマスガ、是ハ殆ド空文デアッテ、ドウシ
テモ、自分ノ損害ヲ填メ合セスル爲ニ枚數
ヲ買フト云フコトノ方ガ多イ、又ソレデ、
馬券ガ下ッタカラ多ク買フト云フコトハ、
是ハ机上論デアリマシテ、決シテ實際ニ於
テハ行ハレナイノデゴザイマス、マアサウ
云フ弊害モゴザイマスノデ、先達テモ私ハ
馬政局長官ニ、競馬法ノ改正ヲスル御意思

ガアルカドウカト云フコトヲ伺ッタノモ
之ニ基クノデゴザイマス、尙甚ダ諄イヤウ
デゴザイマスガ、サウ云フコトガゴザイ
マスノミナラズ、先刻軍馬ニ關係スル
馬ガ果シテ公認競馬ニ出ルヤ否ヤト云フコ
トノ御辯明ヲ御伺ヒシタノデゴザイマス
ガ、私ハ此ノ現在ノ公認競馬法ヲ改正スル
要ガアルト思ッテ居ルノデゴザイマスガ、尙
其ノ點ハ甚ダ諄ク申上ゲテ恐縮デゴザイマ
スガ、モウ一應御説明ヲ得タイト思ヒマス
○政府委員(荷見安者) 只今御示ノ競馬法
ニ關シテハ色々改善ヲ要スベキ事項ガアル
デハナイカト云フ御話デゴザイマスガ、第一
ノ、從來各競馬俱樂部ニ分散致シテ居リマ
シタモノヲ、組織ヲ改善致シマシテ、昭和十
一年ノ法律ニ依リマシテ日本競馬會ニ之ヲ
統制シテ、ソコデ全國畫一的ニヤッテ行ク
云フコトデ、組織ニ付キマシテハ昭和十一
年ニ改善ヲサレマシテ、ソレガ只今一兩年
實行ノ途ニ就イテ居ルコトハ御承知ノ通り
デゴザイマス、勝馬投票券ノ取締ノコトニ付
キマシテハ、是ハ只今モ御話ノヤウニ、一
人一枚ノ取締ト云フ風ナコトニ付テハ、關
係者全體ガ非常ニ注意ヲ致シテ居リマスノ
デ、餘程改善セラレテ居ルモノト考ヘテ居
リマス、併シ多數人數ノ集ルコトデアリマ

スカラ、此ノ取締ニ付キマシテハ十分注意
ヲシナケレバイケナイト思ッテ居リマシテ、
ソレハ今後モ尙一層努力ヲ致シタイト思ヒ
マス、又競馬施行方法ニ關スル問題ニ付キ
マシテハ、是ハ今回陸軍ノ要望、或ハ馬政
計畫等ニ依リマシテ、種馬ノ選定上最モ適
當ナルヤウニ施行シナケレバイカヌト云フ
コトニナリマシタノデ、昨年末省內ニ競馬
改善研究會ヲ設ケマシテ、關係省並ニ民間
ノ専門家等モ参加ラシテ貫ヒマシテ研究ヲ
開始致シテ居ルノデアリマス、是モ成ルダ
ケ至急ニ實行致シマシテ、若シモソチヲノ
方面デ必要ガアレバ制度等ニ迄モ手ヲ著ケ
テ宜イモノデアラウト、斯ウ考ヘテ居リマ
スガ、先日モ御尋ガアリマシテ御答ヲ申デ
上マシタヤウニ、只今ニ於キマシテハドウ
云フ改正ヲスルカト云フヤウナ案ハ持ッテ
居リマセヌノデ、ソレデ只今ハ改正ノ意思
ガナイト云フコトヲ申上ゲタノデゴザイマ
ス
○子爵高倉篤磨君 近時競馬ノコトニ付キ
マシテ、日本競馬協會モ規則ヲ勵行サレテ
居リマスコトハ私モ認メテ居リマスノデズ
ガ、只今申上ゲマシタ通り、マダナカ／＼
弊害ノ點ガ多イト思ヒマスノデ、一日モ早
ク此ノ點ヲ御改正ニナラムコトヲ希望致シ

マシテ、私ノ質問ハ是デ一時打切りマス
○子爵會我祐邦君 馬券ニ付キマシテ、競馬ノ弊害ト云フヤウナコトニ付キマシテハ、既ニ過日私ハ大體ノ意見ヲ述ベテ置キマシタ、唯政府ハ此ノ弊害ノ範圍ヲドウ云フ風ニ御覽ニナッテ居ルカト云フコトヲ簡單ニ伺ヒタイノデスガ、詰リ競馬場ニ於キマスル所ノ馬券ヲ買フ、又今ノ高倉君ノ御話ノヤウニ、何人カシテ一枚ヲ買フトカ云フヤウナコトガ現實ニ行ハレル所ノ弊害ハ、是ハ私モハッキリ認メテ居ルノデスガ、更ニ競馬場ニ居ナイ者ニ行ハレテ居ル博奕、博奕ト言フチヤ語弊ガアルカモ知レマセスガ、私ハ博奕ト言ヒタイノデスガ、ソレガ競馬場以外、例ヘバ競馬場ニ行カナイデ、東京ニ居ル者ノ間ニサウ云フヤウナコトガ行ハレテ居ルヤウナ弊害ハナカラウカト云フ私ハ虞ヲ持ッテ居ル、先日來ノ御説明ニ依リマシテ、競馬ノ結果、馬ニ對スル趣味及ビ認識、知識ヲ深カラシメル、段々ソレガ深クナッテ來ルト、本當ノ意味ノ知識トカ何トカ云フモノデナクシテ、馬其ノモノノ勝ち負けニ引込マレルト云フコトハ人情ノ弱點デアリマシテ、現ニ此ノ競馬ハ「フランス」アタリデハ盛ンニ行ハレテ居リマス、御承知ノ通り「ロシヤン」ノ法ト云フモノガ、古イ話デアリ

マスルガ、千八百八十九年頃ニ非常ニ其ノ弊害ノ大イナルモノヲ見マシテ、到ル處ノ「カフェー」デ相互ヒノ博奕ヲヤルノデアリマス、ソレハ、此ノ馬ニ對シテ五ヲ拂フ、俺ハソレニ對シテ八ヲ拂フト云フヤウナコトガ、「カフェー」等人ノ集ル所全體ニソレガ擴ッテ居ル、甚ダシキハ此ノ「カルチエ」ラテ「ト申シマスルガ、學生ノ居リマスル町ノ「カフェー」ニ迄行ハレマシテ、サウシテ「エー」ノ馬ニ對シテハ三デ、此ノ「カフェー」ノ阿爺ガ此ノ馬ニ對シテハ二對一ダトカ云フヤウナコトガ、公然ト行ハレルヤウニナリマシテ、到頭「フランス」ノ輿論ニ、恐ルベキ弊害ガ高唱サレルヤウニナリマシタ、時ノ内務大臣「コンスタン」ト云フ人ガ居リマシタ、非常ニ立派ナ意思ノ強イ御方デアリマシテ、其ノ「コンスタン」ガイキナリ「パリ・ミューチュエル」ト申シマスカ、「パリ・ミューチュエル」ヲ禁止シタノデアリマス、ソレデ一切博奕相成ラスト云フコトヲ斷行シタ、非常ニ意思ノ鞏固ナ人デゴザイマシタ、サウシタ處ガドウ云フ事ガ起ツタカト云フト、「パリ」ハ恰モ革命デモ起ツタヤウナ騒ギデ非常ニ大キナ「デモンストレーション」、非常ニ大キナ暴動ガ起リマシテ、「パリ」ノ軍隊ヲ競馬場ニ出動セシメテ之ヲ抑

ヘマシタ、併シガナラ所謂競馬ニ對スル、競馬其ノモノハチツトモ變ッテ居ナイ譯ナンデ、競馬ノ馬券ヲ賣出ス所ノ人氣ト云フモノヲ害シタト云フコトニ外ナラナイ、其ノ結果ガ斯クノ如ク非常ニ大キナ騒ギヲ起シマシテ、其ノ内閣ハ遂ニ間モナク潰レマシタ、内務大臣ノ「コンスタン」氏ノドウカシテ自分ガ國民ノ投機心ト云フヤウナモノヲ微發スルモノヲ根本のカラ防ギタイト云フ理想モ、遂ニ行ハレナカッタコトヲ私ハ記憶シテ居ル、ソレデ今私ノ御伺ヒシタイト申シマスルノハ、サウ云フヤウナコトガ東京市内ニモ行ハレテ居リハセスカ、現ニ地方競馬ニ於テハアルコトヲ私共ハ知ッテ居ルノデアリマス、或ハ競馬場ニ行ッテ買フ者モアリマセウ、或ハ地方ノ農村ニ於テサウ云フモノヲ買ッテヤッテ居ル者モアリマセウ、或ハ相撲ニ於テモサウ云フコトガ行ハレテ居ルカモ知レマセス、併シナガラ東京ノヤウナ今日ノヤウナ「カフェー」トカ云フヤウナモノガ、段々ト公然ト「カフェー」ノ營業ニ非ズシテサウ云フヤウナ所迄ヤリ出スヤウナコトガ起ツタナラバ、トシデモナイコトニナリハシナイカト思フノデスガ、サウ云フヤウナ間接ト申シマセウカ、競馬場以外ニ行ハレテ居ルモノノ弊害ニ付テ、政

府ノ諸公ハ之ヲ何ト見テ居ルノデアルカ、或ハサウ云フモノガアリ得ルカ、アリ得ルト云フコトニナレバ非常ナ所迄行クト云フコトハ覺悟ガサラナケレバナラスコトデアラウト私ハ思フノデスガ、御所見如何デゴザイマセウカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス、内務省ノ方ガオイデニナラナケレバ御伺ヲ控ヘテモ宜シウゴザイマスガ、唯アナタ方ノ常識トシテ……
○政府委員(荷見安君) ソレハ私共ノ方デハマダ十分ニ調査ガ行届イテ居リマセヌノデゴザイマスガ、私共ノ耳ニハ確カナコトハ間接ニモ入ッテ居リマセヌデゴザイマス、或ハ警保局トカ、或ハ司法省等ノ政府委員トモ打合セマシテ之ヲ調べテ見タイト思ヒマス
○金杉英五郎君 軍馬ノ訓練ヲ民間ニ託スルト云フ案ヲ拜見シマシタガ、先刻陸軍ノ方ノ仰シヤイマシタヤウニ、總テノ馬ノ中デ軍隊ノ馬ガ最モ今度ノ戰役ニ於テモ優良デアッタト云フヤウナ御話ヲ伺ヒマシタ、サウスルト是ハ民間ニ軍馬ノ鍛鍊ヲ委託スルコトナシニ、總テ軍隊デ鍛鍊スルト云フコトニナリマスレバ、兵士ノ鍛鍊、馬ノ鍛鍊、兩全ヲ得ルコトノヤウニ思ヒマスルガ、固ヨリ是ハ經費ニ大變關係スルコトデアリマ

セウガ、之ニ付テノ御考ハドシナモノデア
リマセウカ、チヨット承リタイ

○政府委員(中村明人君) 只今ノ御質疑ニ
對シマシテ御答ヲ致シマス、只今ノ御質疑
ノ點ハ、若シ軍保管馬ノ如ク軍所要ノ馬ヲ
軍隊ガ全部保管スル時ニハ、是ハ御説ノ
通り一番最上ノ方法デゴザイマシテ、精銳
ナル軍隊ハサウシタイノデゴザイマス、如
何サマ此ノ數ガ、平時持ッテ居ル軍隊ノ訓練
ニ必要ナル馬ト、戰時動員ヲシタ時ニ持タ
ナケレバナラヌ馬トノ數ガ、非常ナ懸隔ガ
ゴザイマスノデ、平時カラ左様ナ澤山ナ數
ヲ保管スルト云フコトハ、經費上カラモ第
一行詰ルコトト思ヒマスガ、假ニ經費上ソ
レヲ許シ得ルト致シマシテモ、我が國ノ現
況ニ於テハ地方產業界トノ關係、馬ノ總數
ノ問題ニナリマスノデゴザイマスガ、尙言
葉ヲ換ヘテ言ヘバ國家總力ノ、馬ニ對スル
所ノ總力ヲ經濟的ニ使フト云フ點カラ申シ
マシテモ、寧ロ平時ニ必要ナモノハ軍ガ保
管ヲシ、サウシテ戰時ニ必要ナモノハ、前
申シマシタヤウナ理由デ唯民間ダケニ委ネ
テ置クコトハ出來マセヌノデ、軍ガ保管ヲ
スルニ成ルタケ近寄ッテ、全ク只今御指摘ニ
ナリマシタ理由ニ基キマシテ軍ニ近寄ッ
保管ヲサセタイ、斯ウ云フ積リデ今度ノ軍

馬資源保護法案ガ出來マシテ、民間ニ保管
ヲサセタイ、是ガ今迄ノヤウニズル〱ペ
ツタリデ農業ノ肥踏ミニ馬ヲ置イテ居ル、
肥シ取りニ置イテ居ルト云フヤウナ風デハ、
先程御説明申上ゲマシタ通り有事ノ際ニハ
軍ノ役ニ立チマセヌカラ、ソコデ軍デ保管
ヲスルノガ無論原則トシテハ宜シウゴザイ
マスガ、前申上ゲタヤウナ理由デ、依然民
間ニ委シテ置キマスガ、今迄通り抛ッテ置イ
テハ駄目ダ、ソコデ言葉ハ惡ウゴザイマス
ガ、干涉ト申シマスカ指導ヲスル必要ガア
ルト云フ所デ、今回軍馬資源保護法案ト云
フモノニナッタ次第デゴザイマス

○金杉英五郎君 能ク分リマシタ

○男爵佐藤達次郎君 競馬ノ馬券發賣ト云
フコトガ、風教上或ハ思想上ニ惡イ影響ヲ
來スト云フコトハ屢、伺ッテ居ルコトデア
リマスルガ、實際ニ馬券ノ爲ニ一家ノ不
和ヲ來ス、或ハ厩大ナ負債ヲ拵ヘル、延
イテハ破産ニ陥ルト云フ者ガ非常ニ澤山ア
リマスノデアリマスカ、又サウ云フ者ガ段
段多數ニナル傾向モアルノデアリマスカ、
或ハ又斯ウ云フ人ガ偶、アリマシタノヲ、馬
券發賣ニ反對スル點カラ誇大シテ報道サレ
ル、風教上由々數コトデアルト云フヤウナ
風ニナッテ居ルノデアリマスカ、此ノ點ニ付

テ御調ニナッテ居リマスルナラバ御教ヲ願
ヒタイ、世ノ中ニハ色々人ノ人心ヲ惑ハス、
誘惑スルト云フヤウナコトガアリマス、サ
ウ云フコトモアリマスノデ、世ノ中ニ存在
スルト云フモノヲ、自分デ物事ヲ判斷シテ、
自分デ調節シテ事ヲ行クト云フコトモ
知ッテ居ランナラヌモノト思ヒマス、例ハ餘
リ適切デナイカ知レマセヌガ、河豚ト云フ
魚ハ非常ニ美味シイ、併シ偶ニハ中毒ヲス
ル死ヌコトモアル、併シ販賣ハ禁ゼラレテ
居リマセヌ、之ヲ食フカ食ハヌカト云フコ
トハ皆自分ノ勝手デアリマス、自分ノ判斷
デ以テソレヲ食フトモ食ハヌトモスルノデ
アリマス、馬券ニ於テモ是ト同ジヤウニ、
馬券ヲ發賣シテ居ルカラト云ッテ、之ヲ買ハ
ナケレバナラヌト云フコトモナイ、又負債
ヲシテ迄買フベキモノデハナイ、中レバ利
益ハアルケレドモ中ラヌ場合ニハ損ト云フ
コトモハキリシテ居ル、其ノ位ノ理窟ハ皆分ッ
テ居ルコトト思ヒマス、斯ウ云フコトノ理
解ノ出來スト云フノハ、チヨット世ノ中ニ生
存シテ居ルニムヅカシイ方デヤナイカト思
フ、偶、斯ウ云フ人ガ馬券ヲ買ッテ失敗シタ、
ソレハ其ノ人ハ馬券ヲ買ハヌデモ失敗スル
人デアルカモ知レナイ、ソレヲ全部馬券ノ
責ニ負ハスト云フコトハ、ドウ云フモノカ

ト考ヘテ居リマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマ
シテ、私ハ馬券ヲ何處迄モ獎勵スルト云フ
考デモアリマセヌガ、公平ニ考ヘマシテ、
餘リ馬券ノ發賣ト云フコトハ惡イトモ考ヘ
テ居リマセヌ、政府ニ於カレマシテモ、馬
券ノ發賣ハ惡イケレドモ已ムヲ得ズ今日ノ
場合之ヲ發賣シテ居ルノカ、又今後ニ於テ
モ適當ナ方法ガアレバ之ヲ止メルト云フ御
考デアリマセウカ、又サウ大シタ影響ガ、
惡イ影響ト云フモノヲ餘リ認メテ居ラヌト
云フ御考デアリマスカ、御調ニナッタ點ガア
リマシタラバ御教示願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(荷見安君) 馬券ノ發賣ニ關ス
ル利害ニ付キマシテハ、只今陸軍ノ政府委
員カラ御説明申上ゲタヤウニ、私共ハ之ニ
依ッテ種馬選定上ニ於ケル方法トシテ極メ
テ適切ナルモノガアルト云フコトハ御同感
デアリマス、從ッテ之ニ付テハ、弊害モ色々
アルト思フノデアリマス、ソレカラ世上ノ
調ベタモノニ依リマシテモ、馬券ヲ買ッテ爲
ニ財産ヲ無クシタト云フヤウナ御調モアル
コトモ承知致シテ居リマスガ、ソレハ只今
御話ノ如クニ、原因ト云フモノガ必ズシモ
ソレノミデアルカ、外ニモアルカト云フコ
トハ、是ハナカ〱困難ナルモノデアラウ
ト思フノデアリマス、私共ト致シマシテハ、

此ノ弊害ヲ少カラシメル爲ニ競馬法ノ施行ニ付テ十分注意ヲ致シマシテ、法律ノ規定ニ依ッテ一人一枚ノ制度ト云フ風ナモノモ嚴重ニ守ラセルト云フヤウニシテ参リマスレバ、其ノ弊害ノ點モ餘程減少シ得ルモノト考ヘル次第デゴザイマシテ、只今ニ於キマシテハ、現在ノ程度ノ實行デゴザイマスレバ、十分取締等ニ注意致シマスレバ、弊害ハ先ヅ忍ビ得ルモノデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ本日ハ此ノ程度デ止メマシテ、次ハ月曜日ノ午前十時カラ開會致シマス

午前十一時四十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君

副委員長 男爵千田 嘉平君

委員

侯爵西郷 從德君

侯爵四條 隆德君

子爵高倉 篤鷹君

子爵曾我 祐邦君

子爵西尾 忠方君

大島 健一君

宇佐美勝夫君

堀切善次郎君

男爵關 義壽君

男爵佐藤達次郎君

次田大三郎君

金杉英五郎君

三橋 彌君

宇野 勇作君

米原 章三君

政府委員

陸軍少將 中村 明人君

農林參與官 林 讓治君

馬政局長官 荷見 安君

馬政局事務官 伊藤莊之助君

説明員

陸軍騎兵大佐 栗林 忠道君

馬政局技師 佐々田伴久君